



**郷土芸能同好会 全国高等学校総合文化祭 2022
出場遠征費をクラウドファンディングにより、
全国の皆様からご支援をいただきました**

(発行)
阿南高校同窓会
(編集)
会報編集委員会
(印刷)
龍共印刷(株)



混迷の時代目標を失わず

同窓会長 宮島久男

昨年は国内外で予想だにしない出来事が相次ぎ、平和を享受している我々には想像できないことが起きました。

あらゆる分野で百年に一度の変革の時と言われる今年、時流を読み、激変する国際情勢に対応して行くことが求められています。

コロナ感染が流行し始めた頃の息苦しさや閉塞感は和らぎ世の中は解放感を取り戻した感がありますが、同窓会活動は停滞した一年でした。その様な中、唯一開催した親睦ゴルフコンペを通し会員相互の親睦を図り、母校の現状、課題をご理解頂いたことに感謝申し上げます。

「魅力ある高校づくり」の一環として検討して来ましたが、願の公設学習塾が昨年6月2日「南宮学習塾」と命名し、阿南高校協力会の5町村の首長様はじめ関係する皆様のご臨席を賜り開講式を迎えることができました。目標とする

成果が得られるよう生徒諸君の奮起を期待するところです。母校の存続が可能か否か、心配は尽きません。少子化はあらゆる分野で現在の仕組を変化させると言われています。高等学校統廃合もその一つです。

母校存続の妙案を見つけることができませんが、同窓生の皆様の英知を集結し方策を立てる今年にしたいと思っております。会員の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

先生方のご指導の下、郷土芸能同好会が全国高等学校総合文化祭東京大会で、ユネスコ無形文化遺産に登録された「新野の盆踊り」を披露し、地元文化遺産の保存・継承に一役かかっており、野球部は連合チームとはなりましたが、母校生徒の活躍で県大会2回戦まで進めるなど、少人数にはなりましたが、生徒それぞれが目標を持ち頑張っています。そんな母校に会員の皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

コロナ感染の心配は尽きませんが、今年、同窓会の諸事業が、各方面で活発に開催されますことを心よりご祈念申し上げます。

関東支部

母校の全国総文祭出場を誇りに思う

関東支部長 木下 長義



皆様こんにちは。

コロナ禍も足掛け4年。その勢い未だ衰えず、支部活動も残念ながら活発な一年であったとは言えませんが、関東支部の近況を少しお伝えしご挨拶と致します。

恒例の支部総会と懇親会はコロナ禍により会員参加スタイルでは開催できず、残念の極みでした。執行役員会を中心にオンライン会議も併用して運営を進めた一年でした。

支部会報「南宮の丘」(2022年版)を6P建てて発行し、第2回から第31回卒業生まで23人の会員の声を紹介。各地に暮らす同窓生の懐かしい声と姿に元気をいただきました。

この企画はなかなか骨が折れ、執行役員の皆さんが数十人の同窓生に電話やメールで声をかけてくれたおかげです。

スポゴミ甲子園決勝大会に

県代表として出場した母校チームを取材し紹介。嬉しかったですね。

8月には、東京で開催された文化活動のインターハイ「全国高等学校総合文化祭」に母校の郷土芸能同好会が出場。

会場の練馬区文化センターに10余人の同窓生が応援にかけつけてくれました。在校生の皆さんの素晴らしい舞台発表に感動。母校からの募金の呼びかけを見て、支部独自として総額30万円を超える募金と差し入れを行うことができました。

また、10月には関東在住の皆さんも参加して、8回生恒例の同期会が故郷で開催され、母校の訪問では60余年の歴史の重さと変化に感慨を新たにされたと伺っております。

本当にささやかな活動のこの一年間でしたが、役員先頭になんとか頑張っております。在校生の活躍に若さと感動をいただき、同窓生の元気な姿が少しでも母校に映って、絆と交流がますます深まっていくようなそんな同窓会活動を目指したいものです。

中京支部

コロナ禍で思うこと

中京支部長 金山 明弘



コロナ禍、とても窮屈な中で3年間、如何お過ごしだったでしょうか。

恐ろしいコロナですが、慣れとは恐ろしいもので、近頃はあまり気にせず経済優先で少し浮かれている気がします。

実は私も昨年5月、十分気を付けていたはずですが、感染してしまい10日間の隔離生活を余儀なくしました。

この3年間、特に日本では全ての行動に自粛制限が掛かり、中止が相次ぎました。

当然に同窓会活動も難を免れず、メイン行事である支部総会も止む無く、3年連続の中止となりました。

そんな中で、コロナが少し治まった頃を見回り、役員会を開催し1年振り、2年振りの元気な顔を拝見すると、懐かしく元気をもらえます。

会員からは、1年後は元気でいられるか分からない。元気な内に感染対策をして開催

すべきとの意見もありました。

私も、今は同感です。

コロナはインフルエンザと同様に終息することは無いとの専門家の意見もあります。

今後は、ウイズコロナの時代を見据え、ネガティブでなく前を向いて進んで行こうとする気力が必要と思います。

私も後期高齢者の仲間入りをしました。年相応に体が衰え、特に物忘れ等が多くなってきましたが、人生に悔いが無いようにと仕事(税理士)に、会活動そしてボランティア活動に毎日多忙です。

学生諸君には、自分は何が好きなのか、そしてどんな職業に就き、人生を歩み社会に貢献できるのか、ゆっくり考えてほしいと思います。

明日に希望をもって、一歩前に進みましょう。

思い出話に花が咲く

同期会8回生の母校訪問

昭和34年卒の同期会8回生の皆様が、令和4年10月21日、母校を訪問されました。

卒業以来64年振りという方もいて、廊下に飾られた当時の写真を見ながら、思い出話で大変盛り上がりしていました。また、2027年リニア中央新幹線東京-名古屋間の開業が予定されていますが、8回生の皆様は、2028年米寿を記念して「リニア」を使用した母校訪問」を計画されています。

なお、このたびの同期会母校訪問を企画された幹事の方から、剰余金46,685円が同窓会に寄付されました。8回生の皆様のご厚意に、紙上をもって厚くお礼申し上げます。



関西支部

大切な阿南

関西支部長 佐々木 孔基



国内でコロナが発生して三年が経過しました。ウイルスが変異を繰り返す中で、専門家予想していたように弱毒化が進みはじめコロナとの付き合い方も徐々に変わってきました。

しかし一年前に世界のリスクの一番に挙げられていた「中国のゼロコロナ政策問題」が現実のものとなり始めております。急激なコロナ政策の転換により、中国内で感染が急拡大する中で新たな中国発の変異株の発生リスクです。

変わらず注意深く行動する人が居るのも確かです。コロナで飲み屋などの店は補助金等で守られてきましたが、これが無くなり始めたこの頃では閉店が進み始めています。新たに開店する店は従来とは異なり、見るからにコロナ対策を意識した店が増えてきました。

このような状況の中、生まれ、そして学んだ阿南へはコロナ禍でも頻繁に帰っており、また、コロナの回避狙いと都会の喧騒からの一時的な避難のためです。帰ると、何気ないいつもの風景が、突然桃源郷のように思えて来たものです。

世界では安全保障、エネルギー、食糧等種々の問題が噴出しており大きな変化があると言われています。一方、母校と地域には穏やかな変化が予想されます。これからの時代これを大切に、阿南には楽園的な特長を持ち続けてもらいたいと願っております。

魅力ある高校づくり

南宮学習塾が開講

令和4年5月27日、地元御供地区の北条会館をお借りし、待望の「南宮学習塾」が開設され、6月2日には、開講式が開催されました。

この学習塾は、阿南高校の存続に係る課題解消に向け、「魅力ある阿南高校づくり委員会」が提言された「学力向上による魅力創出」の一環として開講されたもので、開講には、南部5町村(阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰

卓村)で組織する阿南高校協力会の深いご理解とご支援を頂き、また塾運営の主体として開講して頂くことができました。

開講式には、受講希望の生徒47人が出席し、受講生を代表して3年の林空希さんが「学校のそばに塾ができてうれしい。授業の分からないところを聞いたり、放課後楽しく学習したい。」と意気込ま

る進路実現をしてほしい」とエールを送られた。また、勝野一成阿南町長は、「高校の存続は、地域の維持に関わる重要なこと。地域が一丸となって存続に取り組み、支援協力をお願いしたい。」と呼び掛けました。令和4年度の運営費は、協力会より570万円、同窓会負担金20万円、受講料他21万円、合計611万円でスタートしました。

南宮学習塾 講師紹介

英語 (専任講師)

五月女ニザーアレクサンダー先生



教科書やテストの勉強も大切ですが、それだけではなく、まずは海外に興味を持ち、生きた英語を習得してもらいたいと思っています。

数学 (非常勤講師)

伊藤 麻紗実 先生



自分のペースで納得のいくまで学び、考察していく中で、得るものが多くあることを伝え、生徒の皆さんと発見のおもしろさを共有していきたいと思っています。

国語 (非常勤講師)

南嶋 順 先生



読み、書き、聞き、話す国語の基礎基本をおさらいしつつ、皆さんの国語力アップと自己実現に向けて、ゆったりと歩めたら幸せです。

特別企画

東大への道

阿南高校卒業生でただ一人、東京大学を卒業された、東京都在住の川上永一氏(80回生・天龍村出身)に「東大への道」をテーマにお話を伺いました。



東大志望の経緯

阿南高校に入学した時点で、大学進学は夢にも思っていないでいました。中学卒業後は就職を考えていましたが、母が「高校だけは出ておきなさい」と言ってくれて受験するに至ったくらいです。最初は、就職に有利な実業高校・飯田長姫を考えていました。が、中学の先生の勧めで阿南高校を受験することとなりました。

入学後も、もちろん大学進学など考えていませんので、夏休みなどには学資の補助とアルバイト(道路工事の手伝い)をして、受験勉強はしていませんでしたが、先生か

ら「東大を目指せ」と言われるようになりまし。最初は「先生は何を言っているのだろう」と思っていました。

みんな信じてくれませんが、早稲田・慶応・日大という名前は知っていましたが、東大の存在を知ったのは高校に入ってからです。東大は「日本で一番難しい大学だ」「阿南ではまだ誰も入っていない」と聞いて、「それなら一度チャレンジしてみるか」と思うようになったのが志望の動機です。「一番難しい」が志望の動機ですから、受験学部も最難関とされる理科I類(理学部・工学部)とし、意識して勉強を始めたのは2年生の後半からです。それでも3年生の秋までは、生徒会活動で「第1回阿南高校祭」の準備に熱中し、今も続いていると思えますが強歩大会のコースの下見や「全校クラス別漢字書取り競争」の企

画など、懐かしい思い出です。後に、東大の仲間は随分早くから東大受験を意識していたのだと知りまし。特に、開成、麻布、灘という私立の中高一貫校の人達は、小学校の時から考えているわけで、地方の高校で、しかも高校の後半になって受験を意識した私は、随分異色の存在だったと思います。

高校の時の受験勉強は、授業を中心に、月刊誌「蛍雪時代」でモチベーションアップを図り、問題集に取り組みまし。英語は先生から英文和訳のテキストを渡され、和訳をみてもらいました。モチベーションと言えは、高3の夏休みに、東京の新宿予備校の夏期講習に参加したのは良い刺激でした。また飯田高校の校内模擬試験に場外参加をさせてもらったこともありまし。

試験前日、下見で初めて本郷の東大構内に入りまし。が、荘厳な雰囲気での身の引き締まる思いがまし。

当時、東大の定員は2000人位で、倍率は6〜7倍あつたでしょう。一次試験で4倍にふり落され、二次試験に進みまし。一次試験を通つた時はこれで皆に合わす顔もでき「阿南に帰れる」

とほつとしたことを覚えていま。しかし、二次試験ではあえなく敗退。「サクラチル」の電報を受けることとなりまし。

予備校生活

東大受験では実績のある東京の駿台予備校に通うこととなりまし。

驚いたことに予備校にも入学試験があつて、その倍率は東大よりも高いです。授業は「東大合格」に特化しているので、高校の授業とは全く異なり、毎週、模擬試験があつて成績順位が張り出されまし。この一年間は、人生の中で最も勉強した時間でした。

志望を「理科I類」から「文科I類(法学部)」に変えて、一年後の春、嬉しい「サクラサク」の電報を受け取りまし。

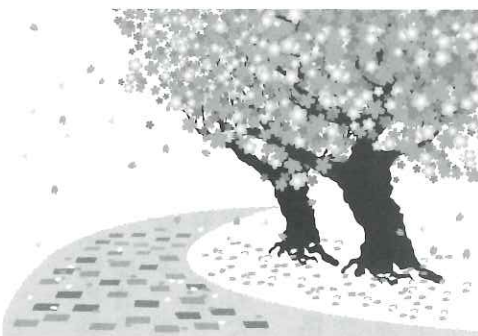
負け惜しみではありませんが、現役の時に東大入試に失敗して良かったと思つていま。大きな挫折を味わうとともに、「来年合格できるかどうかかわからない。不合格だったらどうしよう」という不安な精神状態で一年を過ごした経験が、その後の人生の挫折にも免疫力を發揮してくれまし。大げさな表現ですが、人間の幅を広げてくれた

と思いま。もし、あのまま現役で合格していたら、人の痛み、苦しみに鈍感な、もつと嫌な人間になつていたらと思いま。

まだまだ、たくさんのお話があると思いますが、紙面の都合により割愛させていただきます。

川上氏は、東大卒業後、トヨタに就職され、国内営業畑で活躍、2000年に、ネッツトヨタ東京(社員1400人)の社長に就任、2007年定年により勇退されました。

同窓会には、70周年記念事業の際などに、多額のご寄付を頂いており、紙上をもつて厚くお礼申し上げます。



令和3年度 阿南高校同窓会 一般会計決算書

(令和3年6月1日～令和4年5月31日)

収入金額 1,288,186円
支出金額 1,190,683円
差引残額 97,503円

1 収入 (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 備考. Rows include 1 会費, 2 諸収入, 3 繰入金, 4 繰越金, and 合計.

2 支出 (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 備考. Rows include 1 事務費, 2 会議費, 3 活動費, 4 基金, 5 返済金, 6 備品費, 7 予備費, and 合計.

Summary table for general account with columns for account type, amount, and balance.

全国的に少子化が進み、県教育委員会では、高校の統合や再編計画を打ち出しています。母校の入学者もここ数年募集定員割れが続いており、募集定員80人に対し、令和3年4月の入学者は68人、令和4年4月の入学者は45人でした。なお、卒業生は、令和3年度末で71回を数え10、810人となっています。同窓会では、母校の魅力づくりの一環として開講した「南宮学習塾」の支援を始め、あらゆる場面で、できる限りの応援をさせていただきます。

年会費納入のお願い

窓生の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。年会費は、年間1,000円をお願いしています。趣旨にご理解いただき、よろしくお願ひします。年会費は、郵便局専用の振込用紙でお願いいたします。 ※加入者名 長野県阿南高等学校同窓会 ※口座記号番号 0054016142605 平成23年度から取り扱いを始めた永年会費納入者は、700人余となりました。年会費は免除扱いとなっておりますが、ご理解ご協力をいただければ幸いです。(会計及び事務局)

同窓会 親睦ゴルフ大会

第24回同窓会親睦ゴルフ大会を、令和5年6月10日(土)に、飯田カントリークラブにおいて開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。 前回大会の結果は、次のとおりです。(敬称略) 優勝 近藤公一(11回生・中京支部) 準優勝 金田政美(16回生・阿南支部) 第3位 荒井善作(22回生・飯田支部)

令和4～5年度 阿南高等学校同窓会役員名簿

Table of permanent officers (常任役員) with columns for name, term number, and residence.

Table of branch heads (支部長) with columns for branch name, name, term number, and residence.

Table of advisory and executive officers (顧問, 常任役員) with columns for role, name, term number, and residence.



※令和4年7月9日～令和6年定期総会まで ※卒回 1回=昭和26年度

校より
学だより

阿南高校の未来を見据えて

学校長 浅井真也



会員の皆様方には日頃より本校の教育活動の充実のために多大なるご協力とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

令和4年度は45人の新入生を迎え、161人でスタートし、コロナ禍ではありましたが様々な行事・大会を実施することができました。6月には阿南高校協力会、同窓会のご支援により、本校生徒の学力向上・進路実現のための公営の学習塾「南宮学習塾」が開講しました。現在、英数国を中心に学校での学習をサポートしていただいています。今のところ継続に通っている生徒はまだ少ない状況ですが、今後進路実現のための重要な支援としてより一層活用できるように工夫していきたいと思えます。

クラブの全国大会である全国高等学校総合文化祭へ県代表として出場し、「新野の雪まつり」と「新野の盆踊り」を披露してまいりました。コロナ禍ではありましたが、一人も感染することなく無事帰校することができました。全国大会の規模の大きさ、レベルの高さを経験したことは、きっと人生に何かをもたらしてくれたものと思えます。また、多額の費用がかかるということではじめてクラウドファンディングという形で寄付等の支援をお願いしました。多くの同窓会員の皆様、また、北は宮城県から南は大分県まで、全国の皆様から多くの支援をいただきました。単なる同好会の活動というだけでなく、郷土芸能の文化を高校生が守っている姿に賛同してくれたものと思えます。ご協力いただきました皆様には改めて感謝いたします。

10月には2年生の研修旅行が3年振りに行われ、北九州方面(長崎・福岡)で充実した研修を行うことができました。また、これも3年振りに教育懇談会・郷土芸能鑑賞会が実施され、元飯田美術博物館学芸員の桜井弘人さんに伝統芸能についての講演をしていただくことができました。折しもこの3日後の11月1日には「新野の盆踊り」と「和合の念仏踊り」がユネスコ無形文化遺産に登録される見込みとの報道があり、たいへんタイムリーな講演となりました。

また同月、昭和34年卒の同窓会8回生が本校に来校され、学校内を見学していただきました。当時のポーター部の活躍の様子をお聞きしたり母校の現状についてお話をさせていただきました。

第8波の収束が見えない状況ですが、コロナと共存しながら対策を継続し、少しでも行事や交流が行えるように工夫していきたいと思えます。今後も同窓生の皆様のご来校を楽しみにしています。

これまで阿南高校は開設当時の願いを確実に受け継ぎ、時代のニーズに合わせて様々な改革を実施しながら73年間存続してまいりました。しかし、全国的な少子化や交通網の発達により地域の高校の在籍者数は減少の一途をたどり、阿南高校も昭和55年(1980年)の682人をピークに今年度には161人まで減少してしまいました。

長野県教育委員会は昨年5月に「高校改革」夢に挑戦する学びく再編・整備計画【3次】(案)を公表し、今年1月にこの計画が確定されました。来年度よりこの再編・整備計画に基づいて執行されることとなります。計画にある再編に関する基準について、本校が該当する「中山間地存立校」は、今後在籍者数の基準を下回ると再編の対象となってしまうと見えます。今、阿南高校は阿南町を中心とした地域と連携した様々な施策や体験型の授業、少人数学級による丁寧な指導により誰もが活躍できる学校となってきました。市街地から遠いという不利な点を越えて中学生が「阿南高校に行きたい」と思える学校にするために、同窓会の皆様との連携を緊密にしながらいきいきと考えることに努めていきたいと考えております。

会員の皆様には引き続き本校へのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



郷土芸能鑑賞会 10月



クラスマッチ 9月



阿南祭 7月